

推薦入学試験一期 小論文試験 (氏名票)

- (注)
1. 下の欄に受験番号、氏名を記入してください。
 2. この氏名票以外には、受験番号・氏名、その他本人とわかるしるしは、いっさい記入しないでください。
 3. 字数は 800～1000 字、時間は 60 分です。
 4. 横書きとしてください。
 5. ※印欄には、記入しないでください。

受験番号	氏名	※ 整理番号	※ 摘要

平成 31 年度上板橋看護専門学校

推薦入学試験一期 小論文課題

次の文章は、作者の体験をもとに書かれたものです。

作者の気持ちを前向きに変化させた担当看護師の関わり と あなたの考える看護師の役割 の二点について、800字以上～1000字以内 で述べなさい。

自分のがんになるとは、思ってもみなかった。

20歳の誕生日を迎えた翌月、私は左大腿骨の骨肉腫と診断された。気持ちの整理がつかぬまま入院し、抗がん剤治療が始まった。

つらく厳しいものであったが、家族の励ましもあり、膝を人工関節にする手術、歩行のリハビリ、残りの抗がん剤治療を乗り切った。

無事に退院し、回復も順調。そろそろ就活を始めようと考えていた矢先だった。舌に違和感を覚え、口腔外科を受診すると、舌がんと告知された。手術を急ぐ必要があり、場合によっては言語障害が残るといふ。

心がポキリと折れた。私は周囲に当たり散らした。何をどうすればいいのか、分からなかった。

そんな心境で入院した初日。担当の女性看護師さんが採血に来た。止(駆)血帯で私の腕を縛ったが、なかなか血管は浮き上がらない。長く続いた抗がん剤治療の影響だった。すると、その看護師さんは私の腕をなでながら、こう言った。

「血管くん、ありがとうね。君は彼のために一生懸命がんばって、ちょっと疲れちゃったんだね。でも、彼ももう一度がんばるから、力を貸してね」

…(中略)… その日から、私は明るく、楽しくいようと努めた。うまくいかないときもあったが、入院生活を前向きに送る力になった。

*出典：窪田 健太郎「血管くん、ありがとう」(「忘れられない看護エピソード」)より